

人物埴輪 (永野台古墳【丸山地区・石堂】出土)

埴輪は、古墳の墳丘の頂上部や斜面などに立てられた土の人形です。埴輪は、筒状の円筒埴輪と家や人物、そして動物などを表した形象埴輪に分かれます。

永野台古墳からは、円筒埴輪と形象埴輪の人物埴輪が出土しています。鼻は立体的に、目や口、耳は切り込みで表現されています。頭部のまげは復元されたものです。

永野台古墳の埴輪を観察すると丸玉を連ねた首飾りと耳飾りをつけています。女性と想定されています。このように、人物埴輪からは、古墳時代当時の人々の服装などを想定することができます。他地域の出土例では、武人や楽器を演奏する人、力士などを表現したであろう埴輪が出土しています。

安房地域で、埴輪を伴う古墳は、永野台古墳と恩田原遺跡（富山地区・久枝）のみです。

